

2020年3月16日

各 位

会社名 株式会社アルファクス・フード・システム
代表者名 代表取締役社長 田村 隆盛
(コード番号: 3814 東証 J A S D A Q)
問合わせ先 取締役管理部長 菊本 健司
電話番号 0 8 3 6 - 3 9 - 5 1 5 1
U R L <http://www.afs.co.jp/>

(訂正・数値データ訂正) 「2019年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正
について

当社は、2019年8月9日に開示いたしました「2019年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送付いたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(2020年3月16日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は_____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上

(訂正後)

2019年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年8月9日

上場会社名 株式会社 アルファクス・フード・システム 上場取引所 東
 コード番号 3814 URL <http://www.afs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 隆盛
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理部長 (氏名) 菊本 健司 TEL 0836-39-5151
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第3四半期の業績(2018年10月1日~2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第3四半期	1,389	△2.5	107	116.9	100	151.9	68	164.2
2018年9月期第3四半期	1,424	△7.7	49	△46.6	39	△18.9	26	38.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第3四半期	27.97	-
2018年9月期第3四半期	10.58	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年9月期第3四半期	2,400	702	29.3	285.07
2018年9月期	2,209	658	29.8	267.18

(参考) 自己資本 2019年9月期第3四半期 702百万円 2018年9月期 658百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2019年9月期	-	0.00	-		
2019年9月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2019年9月期の業績予想(2018年10月1日~2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	45.7	400	734.5	380	985.3	254	二	103.10

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年9月期3Q	2,513,800株	2018年9月期	2,513,800株
② 期末自己株式数	2019年9月期3Q	50,300株	2018年9月期	<u>50,240株</u>
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年9月期3Q	2,463,512株	2018年9月期3Q	2,463,643株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

2019年9月期第1四半期決算短信より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用所得環境の改善を背景に、緩やかな景気回復基調で推移したものの、世界経済の不確実性の高まりから、先行き不透明な状況が続いております。

当社の主要販売先である外食市場におきましては、依然、消費者の節約志向は根強くあり、食材価格の高騰、少子高齢化を背景とした人手不足が深刻な状況で、当社の事業領域としては、依然厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社は、外食チェーンを中心に、創業時より一貫して利益追求のための食材ロス削減を実現する「飲食店経営管理システム(R)」、人件費の最適化や生産性を高めるための勤怠集計管理システム

「Timely」を主力に、「食材費」・「人件費」のコスト削減を掲げたシステムをASP/クラウドサービスで提供するとともに、POSシステム、オーダーリングシステムなどの業界に特化した専用のシステム機器を提供してまいりました。

2015年からは、“食”産業のあらゆる業種/規模に対応した、パッケージ型の基幹業務システム「飲食店経営管理システム(R)」を大幅にバージョンアップし、特許を取得いたしました。外食市場の「働き方改革」の一助となる「自動発注システム」に主眼をおき、ソフトウェア販売に比重を置いた施策を推進する一方、2018年11月26日付で、日栄インテック株式会社と業務提携を行い、新たに電気ボイラーによるエネルギーコスト削減事業に参入し、環境に配慮したトータルコストの削減を提案しております。

その結果、当第3四半期累計期間は、売上高は1,389,585千円(前年同四半期比2.5%減)となりました。利益面に関しましては、営業利益107,499千円(前年同四半期比116.9%増)、経常利益100,459千円(前年同四半期比151.9%増)、四半期純利益68,894千円(前年同四半期比164.2%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

(ASPサービス事業)

当社は、顧客である“食”企業に対するASPサービス事業を核に、「ASPサービス事業」、「システム機器事業」、「周辺サービス事業」を一体として提供しております。当事業におきましては、売上高は1,336,585千円(前年同四半期比2.7%減)となり、セグメント利益は116,267千円(前年同四半期比132.1%増)となりました。

① ASPサービス事業

当事業におきましては、月額サービスの新規獲得及び既存顧客へのサービスの拡大と、「飲食店経営管理システム(R)」の販売に注力しております。人手不足を背景として、「自動発注システム」などに対する関心の高まりと、消費税増税に伴う軽減税率対応に向けたシステム需要の高まりなどにより、売上高は993,045千円(前年同四半期比14.1%増)となりました。

なお、月額サービス料は、9ヶ月累計で715,856千円(前年同四半期比5.5%減)となりました。

② システム機器事業

当事業におきましては、従来からのPOSシステム、オーダーエントリーシステム及びテーブルオーダーリングシステムについて、既存顧客の出店対応、リプレイスなどを中心に事業を進めております。第2四半期後半以降、軽減税率の駆け込み需要なども影響し持ち直しはしているものの、第1四半期における既存顧客の出店見通しのずれを埋めるまでには至らず、売上高は239,242千円(前年同四半期比34.6%減)と、大幅な減収となりました。

③ 周辺サービス事業

当事業におきましては、提携先製品の販売、機器修理などのインテグレーション、サプライ製品などの販売に注力し、売上高は104,297千円(前年同四半期比24.1%減)となりました。エネルギーコスト削減事業に関しては、導入時補助金等のタイミングなどにより、売上として計上できていない状態が続いております。

(ホテル関連事業)

当社は、ナチュラルグリーンパークホテルの管理運営を行っております。当事業におきましては、売上高は52,999千円(前年同四半期比4.1%増)となり、セグメント損失は8,768千円(前年同四半期はセグメント損失547千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、2,400,912千円となり、前事業年度末に比べ191,047千円増加いたしました。これは主に、建物13,764千円、ソフトウェア仮勘定48,954千円、現金及び預金13,026千円などの減少があった一方で、売掛金128,733千円、商品55,172千円、前渡金28,560千円の増加などによるものであります。

負債合計は1,615,838千円となり、前事業年度末に比べ146,990千円増加いたしました。これは主に長期借入金96,255千円、未払消費税等43,928千円などの減少があった一方で、社債100,000千円、短期借入金70,000千円、買掛金66,936千円の増加などによるものであります。

純資産は702,273千円となり、前事業年度末に比べ44,057千円増加いたしました。これは、配当金の支払い24,635千円に伴う利益剰余金の減少があった一方で、四半期純利益68,894千円の計上などによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

消費増税による軽減税率対応を背景に、「飲食店経営管理システム(R)」、「自動発注システム」の引き合いも順調であることから、当社は引き続き、基幹業務とシステム機器を絡めたトータルソリューションシステムの提供に注力してまいります。以上のことから、2019年9月期の業績予想につきましては、2018年11月26日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	173,971	160,945
売掛金	<u>235,610</u>	<u>364,383</u>
商品	<u>358,924</u>	<u>414,096</u>
貯蔵品	25,091	29,327
前渡金	<u>24,381</u>	<u>52,942</u>
前払費用	<u>19,740</u>	<u>16,138</u>
未収入金	23,577	27,272
その他	86	634
貸倒引当金	<u>△2,212</u>	<u>△3,345</u>
流動資産合計	<u>859,172</u>	<u>1,062,394</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	<u>383,898</u>	<u>370,134</u>
構築物（純額）	16,916	15,753
工具、器具及び備品（純額）	<u>147,183</u>	<u>138,544</u>
土地	139,627	139,627
リース資産（純額）	60,548	48,566
建設仮勘定	845	845
有形固定資産合計	<u>749,018</u>	<u>713,470</u>
無形固定資産		
ソフトウェア	<u>62,994</u>	<u>108,057</u>
ソフトウェア仮勘定	<u>236,060</u>	<u>187,105</u>
電話加入権	2,445	2,445
特許権	578	509
無形固定資産合計	<u>302,078</u>	<u>298,117</u>
投資その他の資産		
関係会社株式	10,200	10,200
出資金	10	10
長期前払費用	<u>140,468</u>	<u>137,648</u>
敷金及び保証金	13,108	27,573
繰延税金資産	<u>53,428</u>	<u>66,574</u>
長期未収入金	109,792	109,792
その他	19,140	18,825
貸倒引当金	<u>△46,552</u>	<u>△46,552</u>
投資その他の資産合計	<u>299,596</u>	<u>324,070</u>
固定資産合計	<u>1,350,692</u>	<u>1,335,658</u>
繰延資産		
社債発行費	—	2,859
繰延資産合計	—	2,859
資産合計	<u>2,209,864</u>	<u>2,400,912</u>

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	58,691	125,628
短期借入金	500,000	570,000
1年内償還予定の社債	—	20,000
1年内返済予定の長期借入金	129,175	129,175
リース債務	17,253	17,253
未払金	66,568	98,026
未払費用	14,867	12,803
未払法人税等	6,013	45,961
預り金	20,287	17,719
前受金	139,526	153,970
賞与引当金	19,029	4,078
未払消費税等	66,183	22,254
流動負債合計	<u>1,037,596</u>	<u>1,216,871</u>
固定負債		
社債	—	80,000
長期借入金	420,406	324,150
リース債務	48,453	35,513
退職給付引当金	32,106	30,499
その他	13,085	11,603
固定負債合計	<u>514,051</u>	<u>481,767</u>
負債合計	<u>1,551,648</u>	<u>1,698,638</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	537,862	537,862
資本剰余金	327,723	327,723
利益剰余金	<u>△169,762</u>	△125,502
自己株式	<u>△37,741</u>	△37,840
株主資本合計	<u>658,081</u>	<u>702,242</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	134	31
評価・換算差額等合計	134	31
純資産合計	<u>658,216</u>	<u>702,273</u>
負債純資産合計	<u>2,209,864</u>	<u>2,400,912</u>

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,424,745	1,389,585
売上原価	833,322	710,703
売上総利益	591,423	678,881
販売費及び一般管理費	541,870	571,382
営業利益	49,552	107,499
営業外収益		
受取利息	3	6
受取配当金	83	65
受取保険金	—	1,670
助成金収入	750	900
その他	1,254	505
営業外収益合計	2,090	3,148
営業外費用		
支払利息	7,679	7,732
支払保証料	247	50
支払補償費	1,847	—
支払手数料	1,412	1,838
その他	570	567
営業外費用合計	11,757	10,188
経常利益	39,886	100,459
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税引前四半期純利益	39,886	100,459
法人税、住民税及び事業税	1,301	44,665
法人税等調整額	12,512	△13,100
法人税等合計	13,813	31,564
四半期純利益	26,072	68,894

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期財務諸表 計上額(注)
	A S Pサービス事業	ホテル関連事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	<u>1,373,852</u>	50,892	<u>1,424,745</u>	—	<u>1,424,745</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	35,158	35,158	△35,158	—
計	<u>1,373,852</u>	86,051	<u>1,459,903</u>	△35,158	<u>1,424,745</u>
セグメント利益又は損失 (△)	<u>50,100</u>	△547	<u>49,552</u>	—	<u>49,552</u>

(注) セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期財務諸表 計上額(注)
	A S Pサービス事業	ホテル関連事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	<u>1,336,585</u>	52,999	<u>1,389,585</u>	—	<u>1,389,585</u>
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	31,025	31,025	△31,025	—
計	<u>1,336,585</u>	84,024	<u>1,420,610</u>	△31,025	<u>1,389,585</u>
セグメント利益又は損失 (△)	<u>116,267</u>	△8,768	<u>107,499</u>	—	<u>107,499</u>

(注) セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。